

目次

[概要](#)

[プロトコル ロールオーバーはどのように Windows Media Player で動作し、これはどのようにコンテンツサーバに影響を与えますか。](#)

[関連情報](#)

概要

この技術情報は Cisco TelePresence Content Server に関連しています。

Q. プロトコル ロールオーバーが Windows Media Player で動作し仕組み、これがコンテンツサーバに影響を与える仕組み

A. プロトコル ロールオーバーは選択されたプロトコルが利用できないし、失敗しなかった代替転送 プロトコルを提供するのに Windows Media Player によって使用されるメカニズムです。

利用可能な 3 つのプロトコルは次のとおりです:

- MMS - Microsoft Media Server (1755) ポート
- RTSP - リアルタイム ストリーミング プロトコル (554) ポート
- HTTP- Hypertext Transport Protocol (TCS のポート 8080)

プレイヤーが `mms://ip_address/file.wmv` とコンテンツサーバの Windows Media に URL からサーバを接続することを試みるときポート 554 の RTSP を使用するために試みます。それが失敗した場合、プロトコルが利用できる情報 MMS (のためのを使用して 1755) ポート接続することを試みます。HTTP が有効になる場合、プレイヤーはポート 80 の http によって接続することを試みます。(ことに注目して下さいコンテンツサーバはポート 80 が他の Web サービスによって使用中であるのでメイン ページのようなポート 8080 で、流れる http を提示します)。これが失敗した場合、プレイヤーはサーバに接続することができません。

代替ポートが RTSP のために設定される場合、プレイヤーは MMS 情報交換の間に利用可能なプロトコルのネゴシエートの後でさえも代替ポートの RTSP を、再試行しません。

注 MMS は Windows Media Player バージョン 9 および それ以降のための転送するを流すために使用されません。それはプロトコルをネゴシエートするためだけに使用されます。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)